

であい
ふれあい
まなびあい

水谷公民館からのお知らせ

TEL049-251-1129



令和7年度水谷学級が始まります

5月から3月までサークル活動と全体会を実施します。お友達づくりや健康維持のために楽しく活動しましょう！

◎全体会

第3月曜日午前、多目的ホールにて実施。内容は、今後決定します。

◎サークル活動

- ・月曜日：折り紙（第1週午前）
 - ・水曜日：カラオケ（第1、3週午後）書道（第2、4週午前）フラダンス（第2、4週午後）、民謡（第2、4週午後）
 - ・木曜日：体操（第1、3週午後）、舞踊（第2、4週午後）
- ※希望人数が少ないサークルは設置できないことがあります。

対象／60歳以上、原則水谷公民館区在住の方

申込／5月9日（金）まで

窓口にて受付いたします。詳しくは、ホームページや窓口で配布する申込書をご覧ください。



子育てサロン

① おはなし会

本の読み聞かせや
手遊びを楽しもう！

協力／Enne絵本・おはなしグループ

とき／6月4日（水）午前10時30分～11時

定員／親子8組（申込順）

申込／5月14日（水）午前9時から

5月28日（水）午後5時まで

右のコードより、お申し込みください。→→

参加費無料

0歳から参加
できます！



② 親子フレンドパーク

参加費無料

工作や体操、紙芝居などを親子で楽しみましょう！

とき／5月20日（火）午前10時30分～11時30分

内容／「おさんぽワンちゃんをつくろう」

定員／親子5組（申込順）

申込／5月1日（木）午前9時から

5月14日（水）午後5時まで

右のコードより、お申し込みください。→→

※パパママのステップアップ講座は令和7年6月から始まります。



－おひとりさまサロン－
（ひとり暮らしの高齢者対象）

百(もも)の会

ひとり暮らしでお困りのこと、悩んでいることはありませんか。

おひとり暮らしの高齢者の方たちが悩みを話したりする交流の場です。

とき／5月12日（月）午後1時30分～3時30分

※初めてご参加の方は、事前に水谷公民館にお問い合わせください。

内容／未定

－ 公民館の利用について －

【令和7年8月の予約の流れ】

内容	日にち
①抽選申込期間	5月15日(木)～31日(土)
②コンピューターによる自動抽選	6月1日(日)
③抽選結果の確認	6月1日(日)～4日(水)
④窓口受付開始	6月5日(木)
⑤インターネット仮予約受付	6月6日(金)

※ 休館日

令和7年5月19日（月） 第3月曜日

水谷地区の人口（令和7年2月28日現在）

水谷地域の人口 34,593人（－8人） 世帯数 17,655（－4）
（ ）内の数字は前月比

編集委員のつぶやき

風も穏やかな夕暮れ時、私たちはいつものように散歩に出かけた。みずほ中央公園北口から北に向かって延びる遊歩道を歩いていると、前から来た見知らずの小学生の男の子から「こんにちば」の贈物（プレゼント）をいただいた。私たちは一瞬戸惑いを見せながら「こんにちば」と言葉を返した。後に、私たちは顔を見合わせて「とても礼儀正しいお子さんだね」と呟いた。それは、私たちを「ほっこり」とした気分にもさせてくれた。

そして、自分の幼い頃を重ね合わせた時、こんなに素直に人と接することができたのだろうか。恥ずかしがり屋の私には、「むずかしいだろうなあ」と思った。我が国には、「礼に始まり礼に終わる」という礼儀作法を重んじる素晴らしいスポーツ（柔道）がある。この光景は正にそのものであると感じた。この何気ない出来事に心とまされた私たちは、改めて「挨拶」の大切さを知る機会となった。

編集委員 萩元 喜久雄

「愛読者に聞きました」

水子在住 小林 久美子
（取材 編集委員 河野 豊）

水谷公民館だより500号記念にあたり、愛読者でもある水子3丁目サロンの会長の小林久美子さんにお話しをお伺いしました。

現在の住まいである水子にいられて40年とのこと。毎月の広報に挟まれてくる公民館だよりは毎号楽しみにしていて、気になる見出しがあると一字一句目を通すそうです。永い間楽しみに読まれていることを知り、つくり手の一人として嬉しく感謝です。

また、テーマ、レイアウトなどについて

でもお聞きしました。小林さんのお話では、テーマについては情報も含め多方面にわたって興味を持って読んでいますとのこと。文字も見やすく写真、イラストなどで空白も程良く、横書き、縦書きも変化があり好きですとお褒めの言葉をいただき、こそばゆい感じでした。御自身はあまり料理が得意ではないので冷蔵庫にあるものなどで見栄えのいい簡単料理のレシピなどがあればとのことでした。

また、編集に携わっている皆さんは情報集めが大変なのではないですかと気遣っていただきました。500号を区切りとし、新たに501号を出発点として楽しみにしていたにしている地域の皆さんに、話題など多くの情報をお届けできるよう、編集委員一丸となって携わっていききたいと思ひもあらたにお話を伺いました。